

# 壮大な音楽プロジェクト「千住だじゃれ音楽祭」潜入リポート！ ～本番編 #1～

2014.11.12

いいね! 7 ツイート 0

いいね! G+!

前回の記事は[コチラ](#)

いよいよ「千住だじゃれ音楽祭」本番当日！会場は、都内で唯一の水産物専門の中央卸売市場である足立市場です。続々と楽器を抱えた参加者が集結しています。ガムランやビバットといったアジアの民族楽器、箏（こと）や小鼓などの邦楽器、その他さまざまな楽器や瓦、フライパンなどの日用品が織りなすシンフォニーはいかに？

編集部もフライパンとスプーンを持参し、日用品グループとして「千住だじゃれ音楽祭」に参加し、潜入取材してきました！



## 愉快的音楽劇 SUPER-FISHIERMAN(2014) 作曲：アナン・ナルコン



写真提供：アートアクセスあだち 音まち千住の輪 撮影者：KenKato

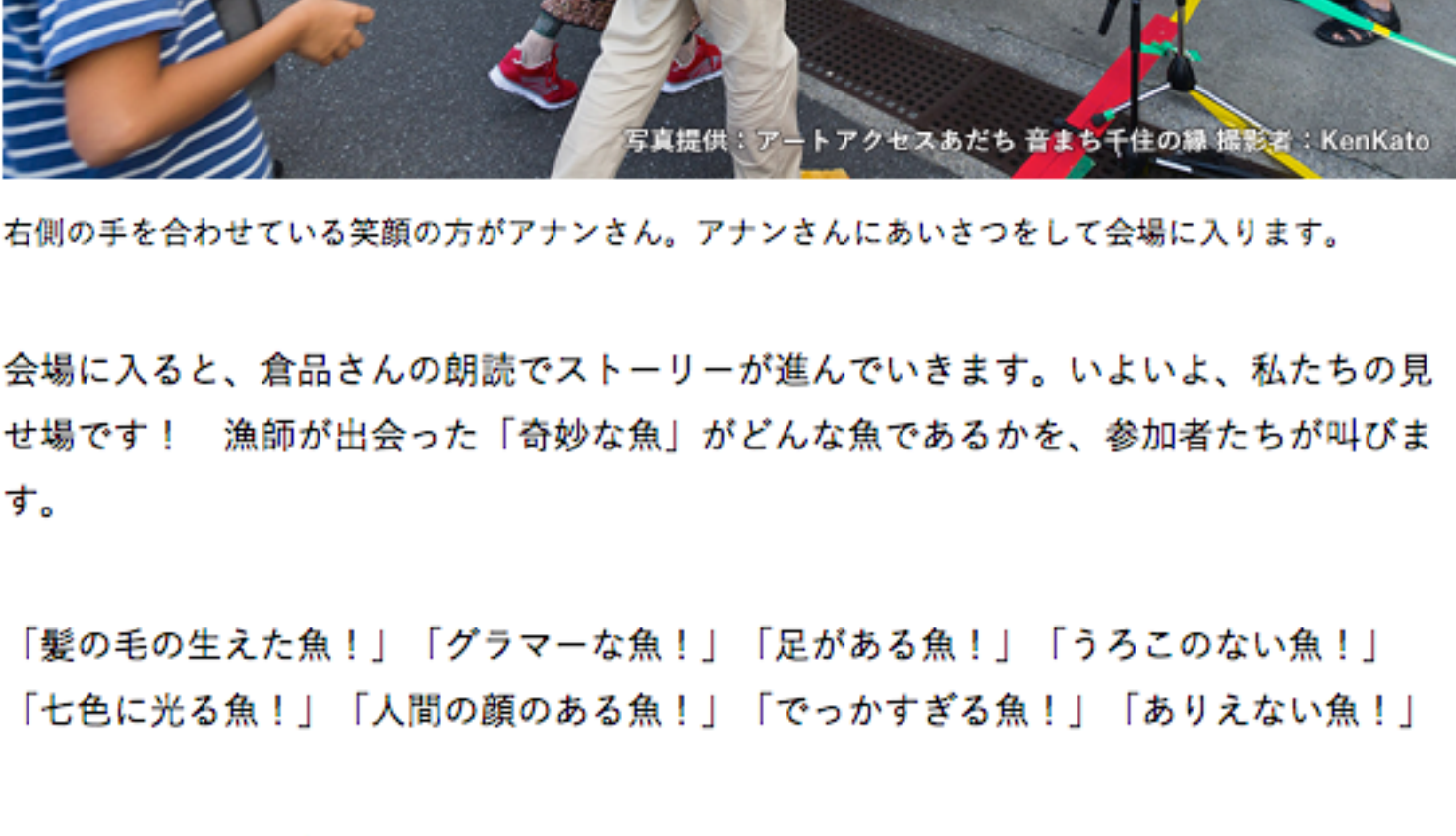
左側がジャワ舞踊の佐久間新さんで、右側がタイ舞踊のシンブラバー・バッタラチンダーさんです。

この曲は、タイの民族音楽学者アナンさんがこの音楽祭のために制作した音楽劇です。足立市場が魚市場であることからインスパイアされたストーリーだそうで、漁師が「奇妙な魚」に出会ってから起こる珍事が、俳優の倉品淳子さんの朗読とジャワ舞踊とタイ舞踊による演出、タイの民族楽器ビバットやさまざまな楽器によって表現されていきます。

この曲はバラードから始まります。主人公の漁師、ベジタリアンの寿司職人、チャールズ・ダーウィン信者の科学者、ゴージャスでハイテクなビジネスマンの4体の人形のもとに、演奏者が集まり、「喜び」「怒り」などの感情を演奏や身ぶり手ぶりで表しながら練り歩き、会場へ向かいます。観客の人々も、音や踊りに誘われてバラードの周りに集まってきました。



写真提供：アートアクセスあだち 音まち千住の輪 撮影者：KenKato



写真提供：アートアクセスあだち 音まち千住の輪 撮影者：KenKato

右側の手を合わせている笑顔の方がアナンさん。アナンさんにあいさつをして会場に入ります。

会場に入ると、倉品さんの朗読でストーリーが進んでいきます。いよいよ、私たちの見せ場です！ 漁師が出会った「奇妙な魚」がどんな魚であるかを、参加者たちが叫びます。

「髪の毛の生えた魚！」「グラマーな魚！」「足がある魚！」「うろこのない魚！」「七色に光る魚！」「人間の顔のある魚！」「でっかすぎる魚！」「ありえない魚！」

私も何か言いたい気持ちはあるのですが、リハーサルでもなかなか声を出せなかったこともあり、もじもじして出遅れてしまいました。

「服を着た魚！」

最後にやっと、言えました。やりました！ほかの人も同じ言葉を叫んでいたようですが、もはや気になりません。

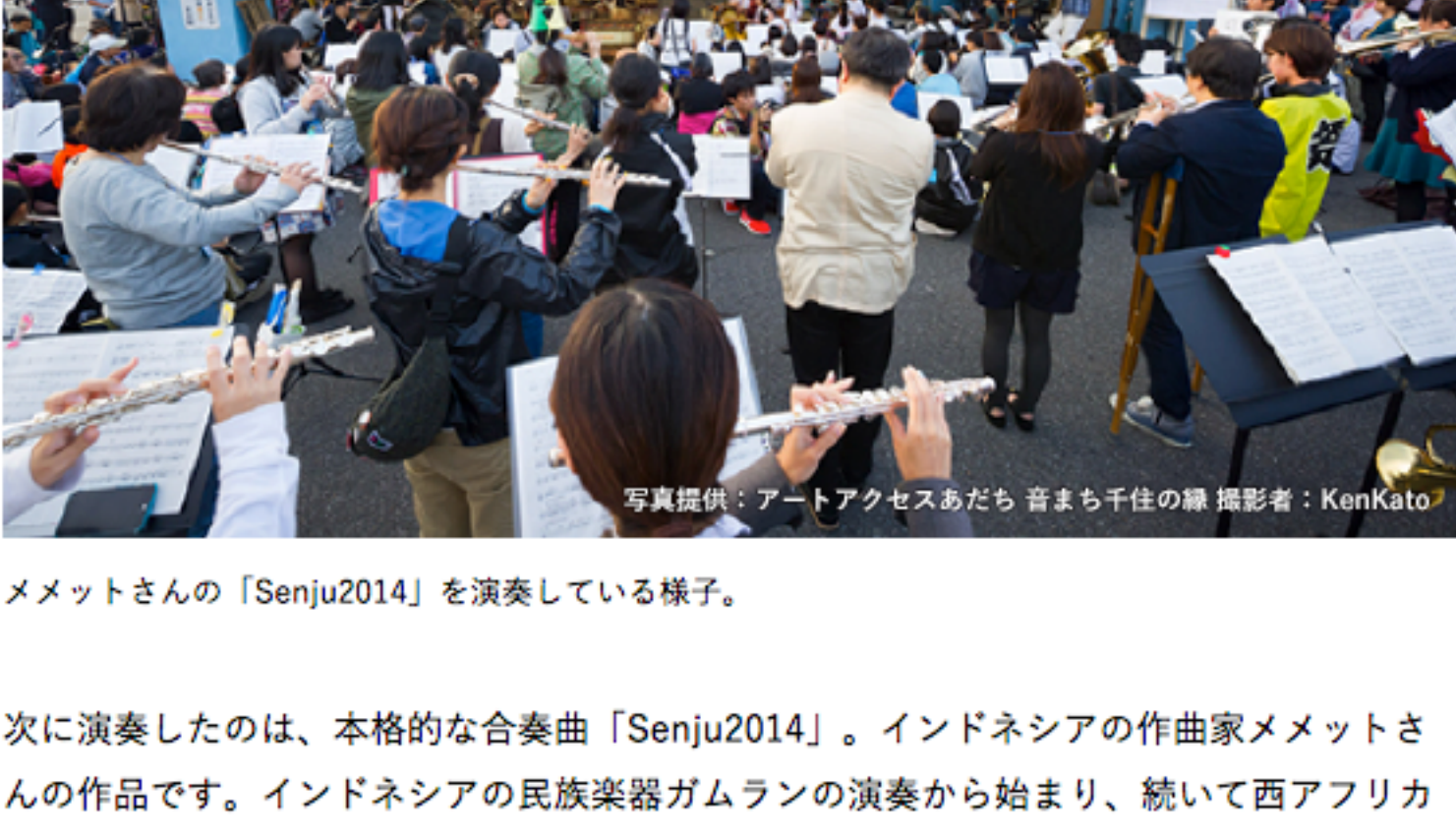


写真提供：アートアクセスあだち 音まち千住の輪 撮影者：KenKato

迫力ある倉品淳子さんの朗読に、引きこまれました！

主人公の漁師が姿を消したことを語る倉品さんの朗読で「SUPER-FISHERMAN」は終わります。劇の参加者の一人でありながら、観客でもあるような不思議な感覚を何度も味わいました。

この世にありえないようなものが突然出現した時、この劇と同じように人々が混乱し、それを自分のものにしようとする人々が争い、そして、その結果何が無くなってしまふかもしれない。そんなことを考えさせられる一曲でした。

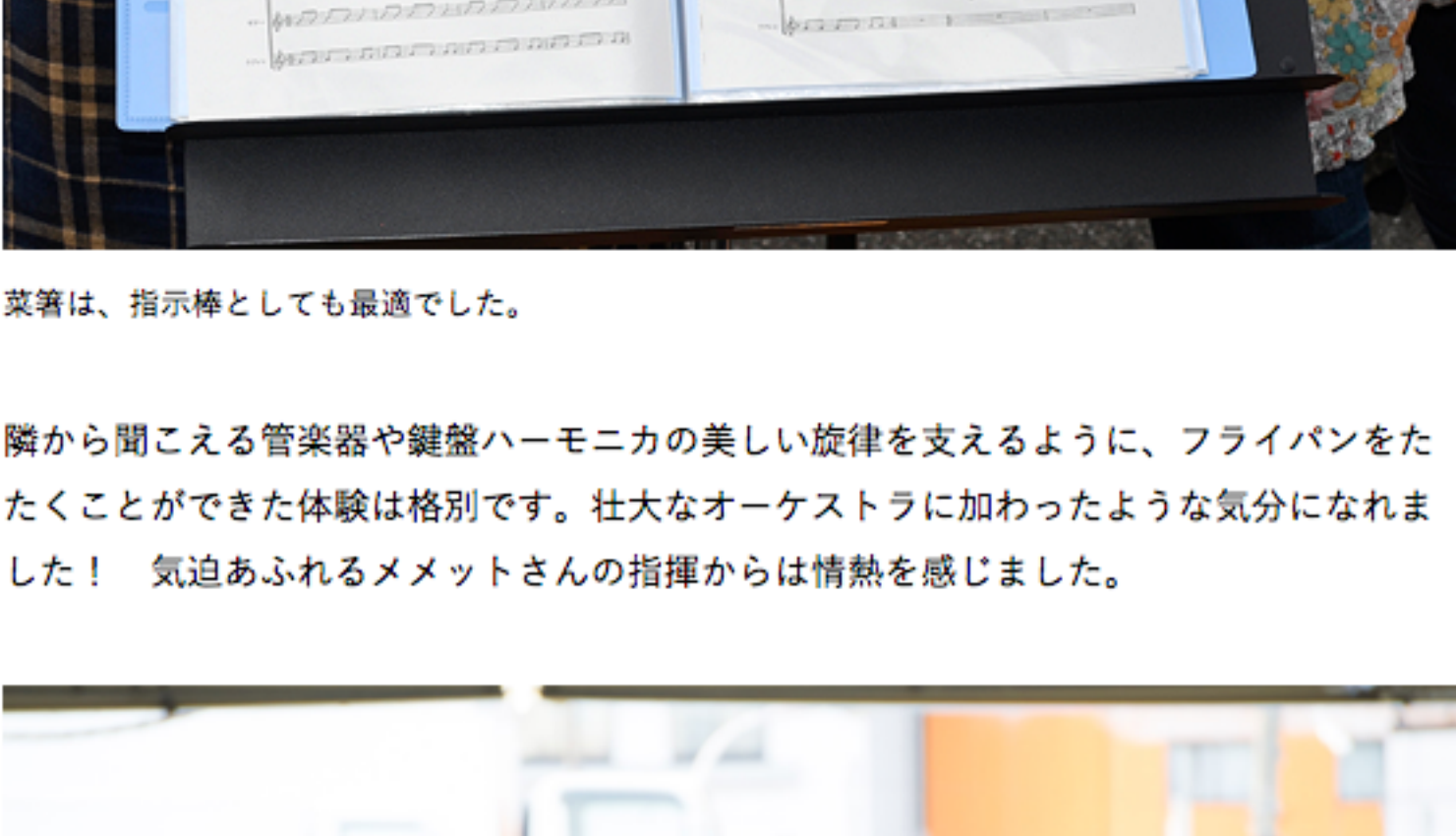


写真提供：アートアクセスあだち 音まち千住の輪 撮影者：KenKato

上演後の一コマです。

この音楽祭のいいところは、観客も演奏者も垣根がないことです。国籍や年齢を問わない交流があちこちで見られました。普段馴染みの無い民族楽器を近くで見て、音を聞くこともできたので、楽器の周りには興味津々な様子でのぞき込む姿がありました。

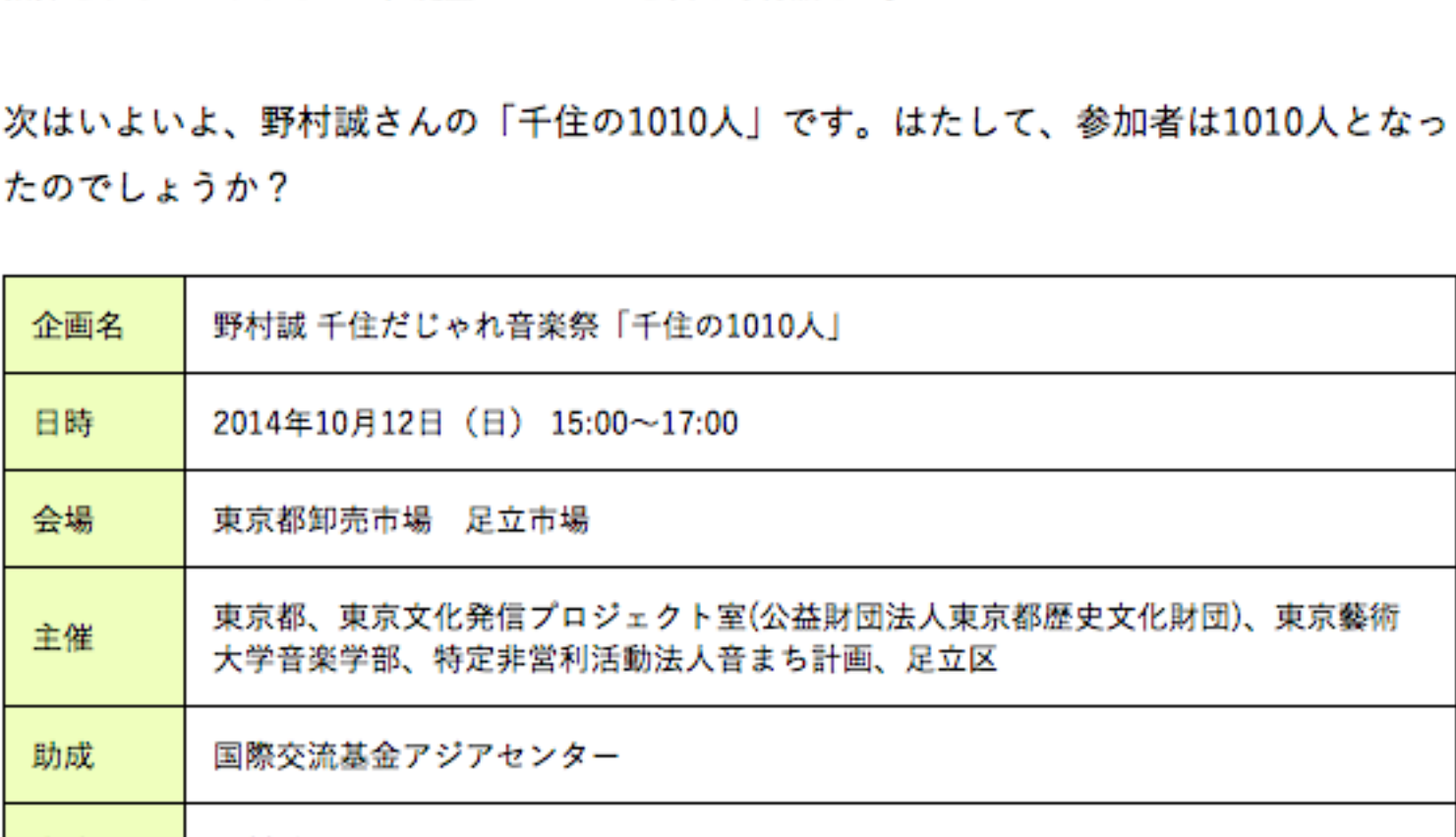
## 箏と楽器のための合奏曲 Senju2014 作曲：メメット・チャイルル・スラムット



写真提供：アートアクセスあだち 音まち千住の輪 撮影者：KenKato

メメットさんの「Senju2014」を演奏している様子。

次に演奏したのは、本格的な合奏曲「Senju2014」。インドネシアの作曲家メメットさんの作品です。インドネシアの民族楽器ガムランの演奏から始まり、続いて西アフリカの太鼓ジャンベや瓦、紙ドラムが合流し、全体でリズムを刻みます。国境を越え、さまざまな文化圏から集まった楽器たちが一斉に音を出した瞬間でした。重厚感があって迫力満点！「こんなにすごい曲にフライパンで参加できて良かった」と思えます。日用品グループはメロディーがないこともあり、リピーター（繰り返し）や休みが多い所ではうっかりするとどこを演奏しているのかわからなくなります。リハーサル時に直面したこの問題を解決するため、出だしを教えてくださいという頼りがいのある方をお願いしていたので、本番ではバッチリ！



菓箸は、指示棒としても最適でした。

隣から聞こえる管楽器や鍵盤ハーモニカの美しい旋律を支えるように、フライパンをたたくことができた体験は格別です。壮大なオーケストラに加わったような気分になりました！ 気迫あふれるメメットさんの指揮からは情熱を感じました。



写真提供：アートアクセスあだち 音まち千住の輪 撮影者：KenKato

指揮をするメメットさんと、鍵盤ハーモニカを吹く野村誠さん。

次はいよいよ、野村誠さんの「千住の1010人」です。はたして、参加者は1010人となったのでしょうか？

企画名	野村誠 千住だじゃれ音楽祭「千住の1010人」
日時	2014年10月12日（日）15:00～17:00
会場	東京都卸売市場 足立市場
主催	東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京歴史文化財団)、東京藝術大学音楽学部、特定非営利活動法人音まち計画、足立区
助成	国際交流基金アジアセンター
出演	野村誠、アナン・ナルコン、メメット・チャイルル・スラムット、ほか1007人
URL	<a href="http://aaasenu.wix.com/senju1010nin">http://aaasenu.wix.com/senju1010nin</a>

いいね! 7 ツイート 0

いいね! G+!